

# 東京地下鉄の概要

## 概要

▶東京都区部を中心に195.1 kmの地下鉄ネットワークを展開しており、1日約707万人(平成27年度決算ベース)のお客様に安心してご利用いただくため、地下鉄構造物の維持管理を適切に行うとともに、改良工事を実施しております。

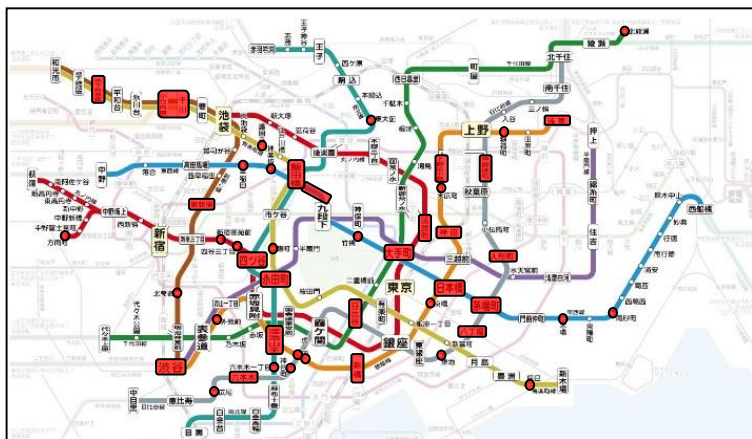


9路線 179駅  
トンネル：166km  
(路線全体の85%)

トンネルの約8割が道路下に敷設。  
そのうち都道部は61%。

## 改良工事概要

▶エレベーター、エスカレーターを設置、駅の混雑緩和対策および駅周辺の再開発にあわせた改良工事等様々な工事を行っております。



エレベーター・エスカレーター設置：27駅  
駅の混雑緩和対策：9駅  
再開発にあわせた改良工事：12駅

## 東西線の輸送改善

▶朝ラッシュ時の混雑率の緩和が喫緊の課題である東西線においては、大規模な駅改良工事や折返し線の整備を行うなど、抜本的な混雑緩和対策を講じております。

飯田橋駅～九段下駅における折返し線の整備

2019年度供用開始予定

茅場町駅におけるホーム延伸等大規模改良

2020年度供用開始予定

木場駅におけるホーム・コンコース拡幅等の大規模改良

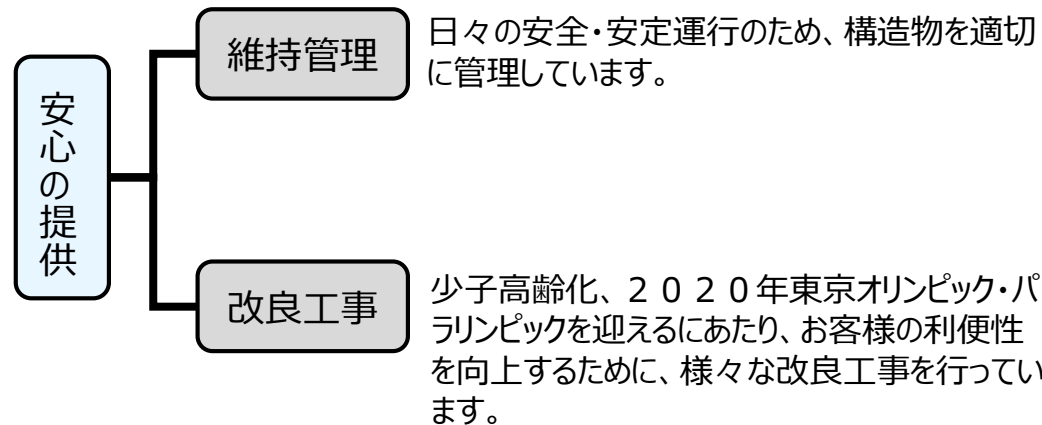
2021年度供用開始予定

南砂町駅における線路・ホームの増設等の大規模改良

2021年度供用開始予定

## お客様に安心を提供するために

▶お客様に「安心」してご利用いただくために「たゆみなき安全の追求」と「質の高いサービス」を提供すること。そのためには地下鉄構造物の維持管理はもとより時代の要請に応じた改良工事を行わなければなりません。



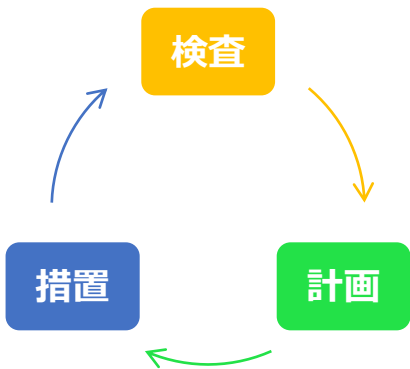
## 維持管理業務

▶地下鉄の安全・安定運行はもとより、道路の安全を確保するためにトンネルの維持管理を確実にを行っています。

補修工事の一例（漏水補修）



- ・補修  
- 個別の変状に対して実施
- ・補強など  
- 大規模な補修工事の実施
- ・予防保全  
- 将来、劣化が懸念される区間を対象に工事を実施（塩害対策など）



### ・定期検査・点検

- 通常全般検査 | 2年に一度
- 特別全般検査 | 20年に一度
- 打音点検 | 4年に一度

通常全般検査状況 特別全般検査状況



### ・短期視点の措置計画

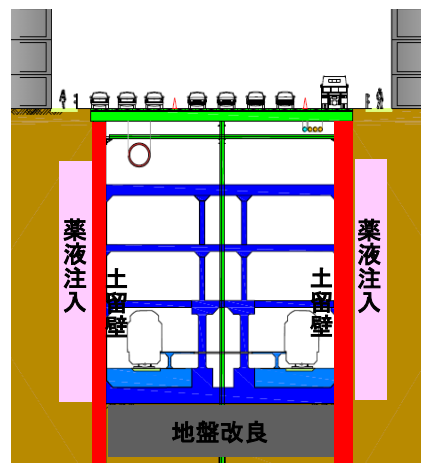
- 検査で確認したトンネルの状態に応じて、補修計画を策定

### ・長期視点の措置計画

- 将来にわたり安全を確保するための、大規模な調査・補修工事の計画を策定

## 改良工事の安全管理について

▶改良工事では複雑な構造物をつくるが多いため、路上から掘り進める開削工法により工事を行っています。



道路や周辺建物への影響を与えないよう施工します。

- ・土留壁について  
地質の種類、工事規模および周囲の状況に合わせ土留壁の種類を選びます。
- ・薬液注入について  
土留壁の背面に薬液を注入することで地下水の侵入を防ぎます。
- ・地盤改良について  
底面にセメントを混ぜることで地盤を安定させます。
- ・測量および計測管理について  
道路、各埋設物および土留壁等仮設構造物に変状、変化がないか確認し工事を進めていきます。

## 維持管理に関する新たな取り組み

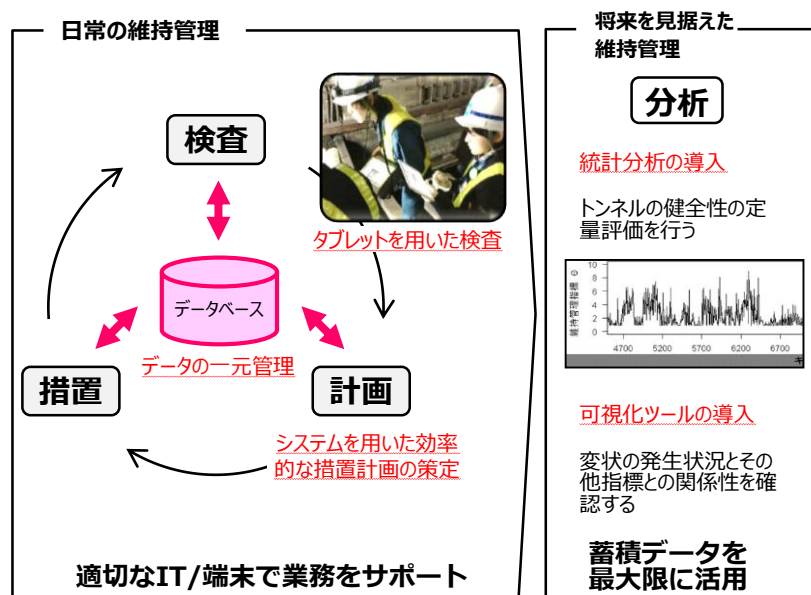
▶トンネルの維持管理を効率的・効果的に行うために積極的にICTを導入しております。

### ICT導入の狙い

- 効率化
- 管理精度向上
- 標準化
- 分析精度向上

背景  
・ 少子高齢化等による  
人員確保の困難  
・ 構造物の経年劣化

### 取組概要



## 外部有識者による検証

▶大規模な工事を行う場合は、外部有識者が参加する技術検討委員会を開催し、設計手法、施工方法の妥当を検証しています。

## 近隣住民の方々に対する工事情報の周知および協力

▶工事期間が長いことから積極的に工事内容をご説明するとともに、工事情報をPRし、近隣の皆様のご理解を頂きながら工事を進めています。

### 工事説明会



### お祭り時工事PRブース



### 南砂町工事PRブース



### 集団登校誘導

